

具氏博物學卷之三

須川賢久譯

田中芳男 閱校

其三

植物分類法

上文ニ記ヤルカ如クリン
 言トス氏植物界ヲ分
 ケテ二十四綱ト爲シ此綱ヲ又分ケテ自屬種ト
 爲ス例ヘバ此二十四綱中第二綱三雄藥雄藥
 ノ數ニテ具有シタル花ノ植物ハ皆此綱ニ屬ス
 蓋此綱ノ植物ハ均シク三個ノ雄藥ヲ具スト雖
 其中心ニ殊異ノ性アルニ依リ更ニ之ヲ分ケテ

286
 3

博物學

卷三

文部省

圖一十四



二目トス其一ハ一個ノ雌藥ヲ有セル者ニシテ之ヲ一雌藥ト名ヅケ其二ハ二個ノ雌藥ヲ有セル者ニシテ之ヲ二雌藥ト名ヅケ其三ハ三個ノ雌藥ヲ有セルモノニシテ之

ヲ三雌藥ト名ヅク
左ニ記載スルリンミーハ氏ノ分類法ハ植物ノ

雄藥雌藥ノ數及結合位置等ニ基キテ設ケシモノナルバ其植物ノ何綱何目何屬ナルヲ決セシム欲ヤバ其植物ニ具フル所ノ雄藥雌藥ノ數ト其結合位置等ヲ知ラントヲ要ス

○第一綱 單雌藥 此綱ノ花ハ一個ノ雄藥ヲ

有スル者ニシテ此綱中ニ屬ト

稱スル者三十三又種ト呼ス者

二百五十アリ其第一目一雌藥

ハ一個ノ一雌藥ト一個ノ雌藥

トヲ具有セルモノニシテ多クハ美麗ナル外國



産ノ植物ナリ且交易重要ノ品タル尋常ノ生薑
 モ亦此目ニ屬ス此綱中植物ノ種子及根ヲ多ク
 藥劑及染料ニ用ヰル即鬱金、阿羅羅、山奈等
 テ最モ其香氣ヲ貴フ此綱ノ植物、其形、蘆ノ如
 キ草本ノ植物ニレテ葉大ニ花美麗ナルモノ多
 シ
 第二目ニ雌藥 此目ハ二個ノ雌藥ヲ有セル者
 ニレテ其屬セアリーラ水馬齒ト云フ即オト
 ルスタルオルトノ水草ナリ此水草ハ多ク溝渠ニ
 生スルモノナリ

第一綱雌藥雄藥ノ區別并第一目第二目ノ區別
 ハ第四十二圖ニ明ナリ
 ○第二綱ニ雌藥
 此綱ノ花ハ只二個ノ雄藥
 ヲ有セルノニレテ綱中ニ
 四 一目アリ此目ヲ又分ケテ六
 十一屬トス
 三 一目一雌藥此目ハ一個
 ノ雌藥ヲ有セル者ニレテ之
 ヲ二雌藥三雌藥ノ者ニ比ハ
 レバ其屬頗多シ美麗ニレテ芳香ナル素馨或ハ



得勿皇 卷三 三 文部省

有用ナル阿利祿或ハ四時美色ナル灌木類或ハ
連翹トウモロコシ樹トウモロコシ梓トウモロコシ等ハ皆此目中ニアリ

第二目二雌藥

此目ハ二個ノ雌藥ヲ具有セル

植物ニシテ其屬僅ニ三個ノミ且此目ニ屬スル

植物ハ皆真ニ禾本ト謂ス可キモノナリ

第三目三雌藥

此目ハ二雌藥ト三雌藥トヲ具

有セル植物ニシテ其屬僅ニ二個ノミ即胡椒及

胡椒ペロシヤノ類

ニシテ此二屬ハ殆相類似セリ

胡椒ハ汎ク辛料ニ用井ルモノニシテ印度地方

ニ於テ大ニ之ヲ耕植ス交易最貴ノ品ナリ

此綱及目ノ區別ハ第四十三圖ニ詳ナリ

第三綱

三雄藥

三個ノ雄藥ヲ具有セル花

ハ皆此綱ニ屬ス其目三其屬

二百七其種千五百四十九ア

リ且此綱中ニ列スル植物ハ

至要ノ者ニシテ各種ノ穀類

及禾本ナリ其色青々トシテ

地ヲ掩ヒ常ニ牧畜ノ食料ト

ナル而シテ冬寒ノ來ル積雪郊野ヲ被覆スルニ

方リ乾艸ト爲シテ之ヲ儲蓄ス又正シク穀物ト

圖 四 十 四



稱スル有用ノ植物ハ概皆此綱ニ屬セリ
 此綱ヲ分ケテ三日トス即一雌藥、二雌藥、三雌藥、
 是ナリ其一ハ一個ノ雌藥ヲ有シ其二ハ一個ノ
 雌藥ヲ有シ其三ハ三個ノ雌藥ヲ有ス尋常ノ木
 本ハ大抵第二日ニ雌藥ニ屬ス即大麥、小麥、黍粟、
 屈曲禾、義狐尾禾、義燕麥、義鷄脚禾、義并ニ
 甘藷等是ナリ
 第三日ニ雌藥 此日中ニ十二屬ヲ包有セリ蓋
 此屬ハ過半水中ニ生シテ毎年死枯スル雜草ナ
 リ其中頗奇ニシテ且美ナル者アレドモ之ヲ耕



植スル者ナク唯植學參考ノ爲ニ聚集スルノ
 ○第四綱 四雄藥 此綱ニ屬スル植物ハ皆四
 個ノ雄藥ヲ具有シ其長サ各一
 様ナリ且此綱ハ殊ニ記憶スベ
 シ何トナレバ第十四綱ノ二雄
 長ニ雄短者モ亦同シク四個ノ
 雄藥ヲ具有シテ其二雄藥ハ長
 ク二雄藥ハ短キヲ以テコレヲ

別タンガ爲ナリ
 第四綱ヲ分ケテ三日トス即亦一雌藥、二雌藥、四

雌藥ニシテ各皆雌藥ノ數ニ依ルモノナリ近刻
 ノ書ニハ全日中ニ殆百十九屬及百二十七種ヲ
 包有ス第一目ノ屬中ニハ美麗ノ灌木及喬木多
 シ是等ノモノ多クハ喜望峰及澳大利亞ノ土産
 ナリ米國ニ生スル灌木ノ一種ニテ最モ重スル
 金縷梅モ亦此小目中ニ在リ
 第三目四雌藥 此目ハ僅ニ七屬ヲ包有スト雖
 モ此屬中ニハ能ク認知セル狗骨葉冬青アリ且
 池水ニ生ズル尋常ノ雜草及緩流ノ江河ニ生ズ
 ル眼子菜モ亦此日ニ屬ス

○第五綱 五雄藥



此綱ノ花ハ五個ノ雄藥ヲ
 具有セルモノニシテ之ヲ分
 ケテ六目トス蓋此綱ハ他
 綱ニ比スレバ兩藥ノ結構甚
 分明ナル花ヲ開ク植物ヲ包
 有ス第一目一雌藥ハ其屬ト
 種一ノ數甚多シ開花ノル各

種ノ植物ハ大凡此目中ニアリ即喬木灌木陸生
 及水生ノ植物蔓延植物匍匐植物攀登植物及一
 年生植物二年生植物宿根植物落葉植物常綠植

物、柔軟及堅硬ノ植物等是ナリ
 第二目ニ雌藥 此目中ニ在ル植物ハ皆五個ノ
 雄藥及二個ノ雌藥ヲ具有セルモノニシテ美麗
 ナル有用ノ植物多シ且此目中ニハ甚奇形ナル
 花ヲ開ク白微即「スワルロ」、アルドアリ又無葉
 植物ノ一種ニシテ甚珍異ナル「スタピリヤ」即チ
 ラテルオルトアリ此花ノ形狀及彩色最モ奇異
 ニシテ其臭氣殊ニ厭フベシ故ニ常ニ敗肉ニ集
 ル所ノ蠅モ屢此花片上ニ其卵ヲ附著スト云
 第三目ニ雌藥 此目ハ三個ノ雌藥ヲ具有スル

モノニシテ此目中ニ美麗ノラウレス「ラウレス」
 種一並ニ有用ナル接骨木等アリ且野生ニシテ能
 ク繁茂シ諸般ノ用ニ供ス「漆樹科」ノ品類モ亦
 此目中ニ屬ス

第四目ニ雌藥

此目ハ四個ノ雌藥ヲ具有セル

圖七十四



五雌藥 四雌藥

モノニシテ此目中只一屬アル
 ノミ其屬ハ米國ノ沼池ニ生ス
 ル美麗ノ草ニシテ梅鉢草「和名ト」
 名ヅク其屬四種アリ其三ハ皆
 北亞米利加ノ土産ナリ

第五目五雌藥 此目ハ五個ノ雌藥ヲ具有セル
 モノニシテ此目中十九屬ヲ包有ス其屬中甚美
 麗ノ「クラシムラ」類アリ「クラシムラ」類ハ津液多キ植
 物ノ一種ニシテ多クハ喜望峰ヨリ移殖セシモ
 ノナリ且麻布製造ニ供スル亞麻モ亦此目ニ屬
 ス

第六目多雌藥 此目ハ許多ノ雌藥ヲ有セル小
 目ニシテ僅ニ三屬ヲ包有ス其中二屬ハ外國ノ
 植物ニシテ「ハミオ」ミオス、ミニモ「ス」即「マウス」
 テ「ル」是ナリ

○第六網 六雌藥

ハ「サ」サ「ド」ド「リ」リ

此網ヲ分ケテ四目ニス即

四十八圖



一雌藥、二雌藥、三雌藥、多雌藥、
 等是ナリ此網中ニハ二百個
 ノ屬ト大凡一千七百二十七
 個ノ種トヲ包有ス米國ニ生
 ズル球根ノ諸植物又開花ノ

諸植物或ハ又庖厨用ニ供スル植物類ハ大半此
 網ニ屬ス即水仙、百合、亞米利加蘆薈、ハマ文珠蘭、オモト白蘆
ク薈、ク鳳梨、ク葱、ク天門冬等是ナリ
 第二目二雌藥 此目ハ僅ニ三屬ヲ包有スト雖

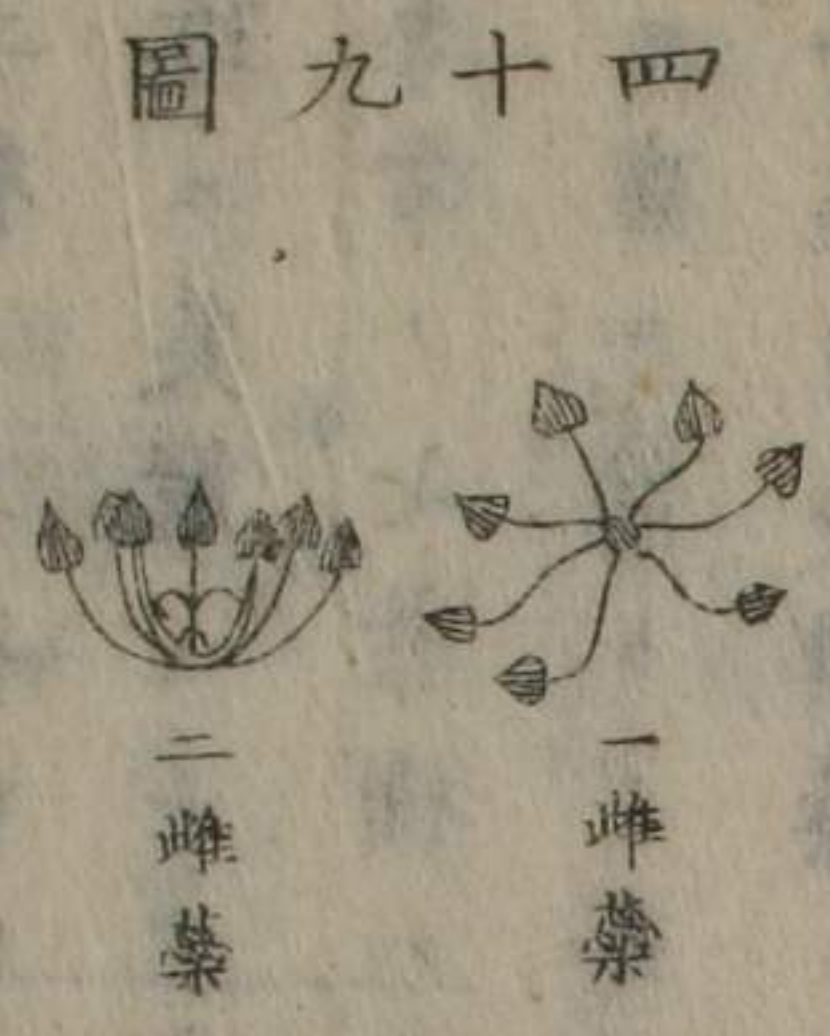
其一一ハ熱帶及温帶ノ諸國ニ住スル人民ニ故
 ク可ラサル要品ナリ即チ印度國ニテ食料ノ首品
 クル稻米ハ此屬ニシテ灌溉ヲ得ベキ平坦ノ土
 地ニハ皆能ク之ヲ耕植セリ且米ハ容易ニ食物
 ト成リ又甚滋養トナルモノナリ

第三目三雌藥 此目ハ球根及塊根ニシテ莖幹
 アル植物數多ヲ包有ス此中ニ世人ノ能ク認知
 モル羊蹄アリ

第四目多雌藥 此目ハ只四個ノ屬ヲ包有スル
 ノミニシテ此四屬中ニ最モ美麗ノモノアリ澤

瀉是ナリ此植物ハ池又ハ泥炭多キ沼ニノ生
 スルモノナリ

第七網 七雄藥 此網ハ四目十五屬四十八
 種ヲ包有ス



第一目一雌藥 此目ハ七個
 ノ雄藥ト一個ノ雌藥トヲ具
 有スル花ニシテ此目中ニ二
 屬殆相類似セルモノアリ即

此二屬ハ元來外國ヨリ移植セシモノナレドモ
 エス多ク及バビヤナル二種ノ七葉樹是ナリ

米國ノ林木中ニ於テ最モ美麗ナルモバダリ尋
 常ノ花ハ世人ノ能ク知ル所ナリ又「パビヤ」ノ一
 二種ハ其花赤色鮮明ノモノナリ此種ノモノハ
 殊ニ美麗ニシテ大ニ景色ヲ増飾スルモノナリ
 尋常ノ七葉樹ハ核果ヲ生スルコト甚多シト雖
 モ鹿ヲ除クノ外絶エテ之ヲ食フモノナレ
 第二百ニ雌藥 此目ハ七個ノ雄藥ト二個ノ雌
 藥ヲ具有セル植物ニシテ此目中ニ只一屬ヲ存
 スルノミ即喜望峰ヨリ移植セシ一種ノ草ニレ
 テ四時凋落セザル「リメウ」^{リメウ}「アフリカ」^{アフリカ}「ユム」^{ユム}是ナ

リ
 第三日四雌藥 此目ハ四個ノ雌藥ヲ具有セル
 モノニシテ此目中只二屬ヲ包有セリ即三白草^{ハンゲシヤカ}
 及近來支那ヨリ移植セシ「アストラ」^{アストラ}「ダス」^{ダス}等是
 ナリ



第四日七雌藥 此目ハ七個ノ
 雄藥ト七個ノ雌藥トヲ具有セ
 ル植物ナリ大凡植物ノ屬其數
 三千有リテ其中七個ノ雄藥ト
 七個ノ雌藥トヲ具有セルモノ

博物志 卷三 十

ハ只此第四目中ノミニ限レリト云フ嗚呼造物者此植物界ヲ整頓スルニ丁リテ偶然七ノ數ヲ忘却レタル歟豈一奇事ト謂ハサル可シヤ

○第八綱

八雄藥

八個ノ雄藥ヲ具有セル植

物ハ皆此綱中ニ在リ之ヲ分ケテ四目トス目中ニ七十七屬及一千五十九種ヲ包有ス第一目一雌藥ハ一個ノ雌藥ヲ有スルモノニレテ此目中人數多ノ屬アリ其中ニテハ

圖一十五



一雌藥

二雌藥

三雌藥

類ハ其種類多クレテ著名ナルモノナリ此目中一千五十九種ノ中ニテ五百四十三種ハ皆ヘクトノ種ナリ此種ハ多分亞非利加ノ土産ニレテ其他ノ一二種ハ英國及歐羅巴大洲ノモノトス美麗ナルヒユニア花水及數多外來レタル艷麗ノ屬等ハ皆此綱中ニ在リ第二目二雌藥 此目中只五屬ヲ包有スルノミ此屬ハ皆外國産ノ植物ナリ此目ハ八雄藥及二雌藥ヲ具有ス第三目三雌藥 此目ハ三個ノ雌藥ヲ具有セル

モノニシテ九屬ヲ包有セリ此屬中ニ在リテ最
モ顯著ナルモノハ海邊葡萄セーサイドグレブ譯義及西印度ノ無患ムロ
樹等是ナリ

第五十二圖



雌四藥

邊ニ苗ヲ生ズル奇異ノモノアリ

○第九綱 イナシリア 雌藥 此綱ニ屬スル植物ハ皆九
個ノ雄藥ヲ具有セルモノニシテ此綱中ニ包有

第五十三圖



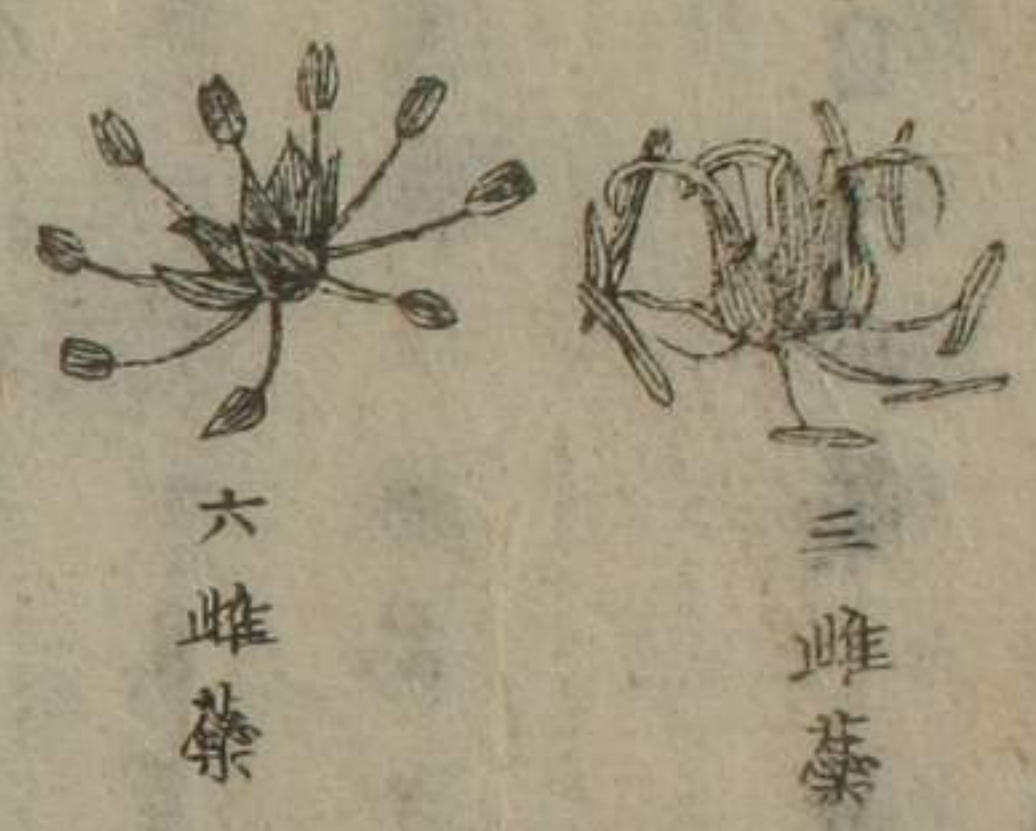
雌一藥

此綱所及種ハ其數甚多カラ
ズ此綱ヲ分ケテ三日トス
中ニ十屬及七十種ヲ包有ス
第一目一雌藥ハ九個ノ雄藥

ト一個ノ雌藥ヲ具有セル植物ニシテ此日中ニ
ハ芳香アリテ且有益ナル肉桂及數多ク油質類
其他有用ノ物品ヲ製出ス可キ有名ノ樟樹等アリ

第二目三雌藥 此日ハ九個ノ雄藥ト三個ノ雌
藥トヲ具有セル植物ナリ此日中ニ妙効アル藥

第五十四圖



劑トナリ又庖厨用ニ供スル
大黃アリ

第三目六雌藥 此目ハ六個

ノ雌藥ヲ具有セル植物ニシ

テ此目中只一屬ヲ存スルノ

ニ屬中僅ニ二種アリ即英國

ノ那不勒府ヨリ移植

第十綱

十雄藥

目ノ植物皆十個ノ雄藥ヲ具有ス此綱中ニ百八

トテ開花蘭ト稱フル草並ニ那不勒府ヨリ移植
トレ廣葉ノ者是ナリ

第五十五圖



十六屬及大凡二千六百四十
八種ヲ包有レテ其中ニ米國
最美ノ花ヲ生ズル灌木及喬
木アリ

第一目一雌藥 此目ハ「カ

ニアス」レ「ビムス」ナギノ屬

石南「ア」ンドロメダス「ド」ダ

等ヲ包有ス此等ノモノハ一般ニ培養レテ甚翫
賞ヒラル、植物ナリ又美麗ニシテ芳香ナル安

息香樹「ク」ント「ラ」及其他最美ナル外國産ノ植物

モ亦皆此目中ニ屬ス此諸物ハ只一雌藥ヲ具ス

第二目二雌藥 此目ハ世人ノ能ク認知セルハ

仙花種類多キ ユキキ 虎耳草ノ屬及 オランダ 丁香石竹 ナチレコ 瞿麥 スギユキ 前邊

羅等種類多キ ガイノチス 石竹ノ屬ヲ包有ス是等ハ皆二個

ノ雌藥ヲ具有セルモノナリ

第三目三雌藥 此目ハ石竹ノ屬ニ類似セル植

物ヲ包有セルコト甚多シ此植物ハ頗美麗ノモ

トト雖モ多クハ細小ニシテ年々枯死スル雜草

ナリ カソチフリ スレモチチ スチ オ ルト ト 古

第五十六圖



三雌藥



五雌藥



十雌藥

草ノコリシド木ノトハノ屬

等ハ皆此目ニ屬シテ目中ノ

過半ヲ充セリ且各三個ノ雌

藥ヲ具有スルモノタリ

第四目五雌藥 此目ハ内國

産及外國産ノ植物ヲ包有ス

ルコト頗多シ ハユバ 卷耳 ハユバ 繁縷 ハユバ 并ニ尋常ニセルレリ

ガサノ屬 其他五個ノ雌藥ヲ具有スル數多ノ植

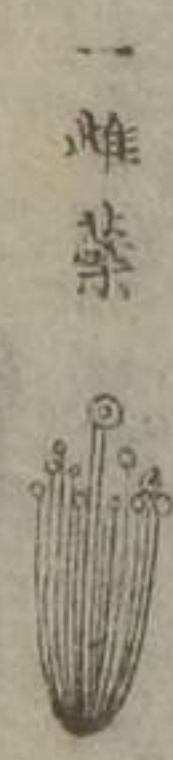
物皆此目中ニ屬セリ

第五目十雌藥 此目ハ十個ノ雌藥并ニ十個ノ

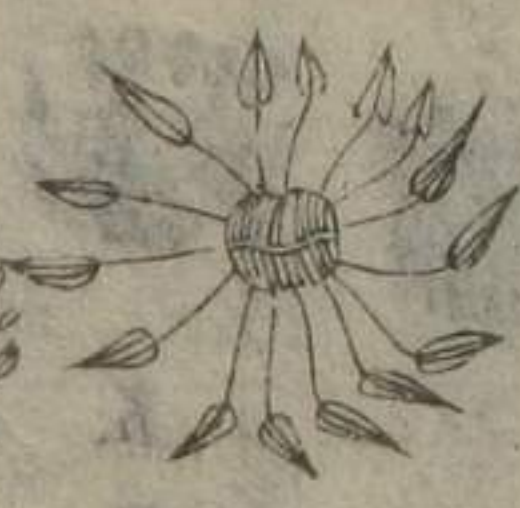
雄藥ヲ具有スル植物ニシテ此目中僅ニ一屬アリ
即商陸ヤマトハク ヒトフシ是ナリ其種ハ九個乃至十個アリ

○第十一綱 十二雄藥 此綱ニ屬セル植物雄

第五十七圖



一雄藥



二雄藥



三雄藥

有名ノ果樹ナル北栗ヲ有ス此果實ハ全世界中

ニ於テ最美味ニシテ最滋養トナルモノナリ

第二目二雄藥 此目ハ二個ノ雌藥ヲ有スル

ノニシテ此目中僅ニ二屬ヲ包有ノ通常路傍ニ

生ズルキンフツヒキ龍牙草アクリモニハ其一屬ナリ

第三目三雄藥 此目ハ「シ」セダノ屬ヲ包有ス其

種中ニ黄色染料ニ用ヰルモノ有リ或ハ芳香ア

ルガ爲ニ培養セラレテ一般ニ愛スル處ノ「ミダ

ノ子」トノリ且甚多種ナルホルトサウ續隨子ノ屬モ亦此

目中ニ屬ス

第四目四雄藥 此目ハ四個ノ雌藥及十三個ノ

雄藥ヲ具有セルモノニシテ此目中唯一屬アリ
即加斯比菴ノ土産ナル「カルリゴミム、バルラレ
」是ナリ

第五目五雌藥 此目ハ五個ノ雌藥ヲ具有セル
植物ニシテ此目中僅ニ三屬

ヲ包有ス「ノ」ヲク棄ルリ「」ヲ
以テ屬中ノ首眼オモナルノモノトフ

三屬中ニテ一屬ヲ除ク他ハ
皆熱帶地方ノ灌木ナリ

第六目六雌藥ハ只一屬ヲ存

スルノニ即「セ」ハ「ロ」ト云ハ是ナリ然ルニ此植物ハ

奇異物中ノ一ニシテ其葉ニ猪籠草ノ如ク美麗

ニシテ蓋ヲ具スタル壺状ツボノカタチノモノヲ有セリ

第七目十二雌藥 此目ハ殆

相類似セル二個ノ屬ヲ包有

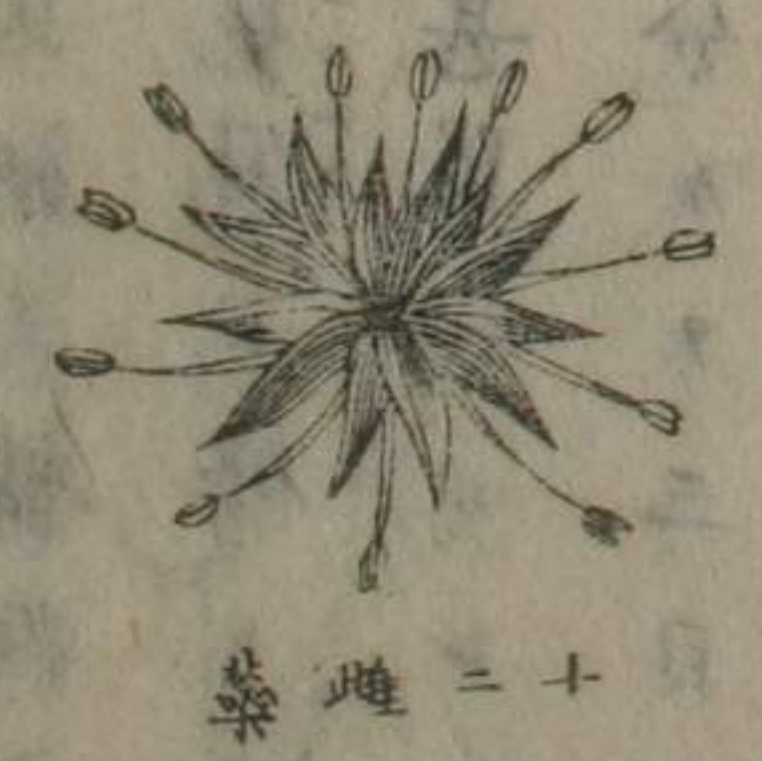
ス即十二個ノ雌藥ト十二個

ノ雄藥トヲ具有セル「セン」ハ

ル「サ」ヒ「ム」即「ホ」ト「ス」リ「キ」是

第十二綱 雄藥 此綱ハ花冠或ハ萼ノ上

アイコサダリア
コロラ
カリク



二十雌藥

第五十九圖



五雌藥



四雌藥

第五十八圖

博物學 卷三 十六 大邦首

ニ廿乃至卅有餘ハ雄藥ヲ具フル植物ニ包有ス
 蓋此綱ハ雄藥ノ員數ニ關セズレテ雄藥ノ位置
 一從ヒ以テ植物ノ品類ヲ定ム且此綱ノ植物ハ
 尋常ノモノト相異ニシテ其雄藥花冠ニ傍ヒテ
 直^{カレン}一萼ヨリ生出ス其萼ノ形狀ハ甚單一ニレテ
 其内部^{ウツロ}凹陷スルモノナリ此綱ヲ分ケテ三目ト
 ス目中ニ六十屬千二百十種ヲ包有ス又此綱ハ
 最モ有用ナル果實類并ニ甚貴重スベキ花類ヲ
 夥シク包有スルユエニ^リニ^ス氏分類法ノ
 二十四綱中ニ在リテ殊ニ緊要ナル一綱トス

第一目一雌藥 此目ハ一個ノ雌藥及ニ十或ハ

第六十圖 二十以上ノ雄藥ヲ具有セル



モノニシテ日中ニ美麗ナル
 仙人掌種屬ノ^{セリ}ト^スエビ

イラム^{オピ}ン^{キヤ}ス^{其他}「ミルトル」エウダ
 エウカリプス^{スアリ}是等ノ植物ハ皆注目スベ
 ク且尋常ノモノトハ大ニ相異ニシテ多クハ其
 花ヲ貴重スル者ナリ又此目ニ屬スル果實類ニ
 ハ番石榴^{ババ}石榴^{ババ}及米國最良ノ^ワ墻^フ菓^ト類數多アリ
 第二目ニ雌藥 此目ハ二個乃至五個ノ雌藥ヲ

具有セルモノニシテ目中ニ

潔^{オハリス}華^ス葉^{フル}楨^ク持^レ等^ノヲ包有セリ^メ

セ^ンブ^リア^レゼ^ミム^ハノ如^キ

種類多キ屬モ亦此目ニ屬ス

其種ニ至リテハ大凡三百十

三個アリ

第三目多雌藥 此目ハ絶艶ノ薔薇^{ローリス}最美味ナル

每懸^{イナゴ}鉤^{トイ}子^{イコ}等及其他華麗ニレテ甚貴ブヘキ植物

ヲ包有スルコト最モ多シ

○第十三綱 多雄藥 此綱ハ植物ハ多數ノ雄

藥子^レ床^レ上^レニアリテ其數各異同アリ綱中ニ一

七屬九百五十六種ヲ包有ス

第一目一雌藥 此目ハ一個ノ雌藥ヲ有スルモ

ノナリ其主眼ナルモノズル

ペ^ルツ^リリ^リ嬰^ボ子^ピ栗^ノ瓢^ノ狀^ノ葉

アル^ルサル^ラレ^ニア^リ美麗ナル

睡^{ヒツク}蓮^ク等^ハ是^レナリ且^レビ^キサ^オレ

ラ^ナモ亦此目ニ屬ス其赤キ

葉肉ヲアルノタト名^ツケ^ケ之

ヲ染料ニ供スル用甚大ナリ



三雌藥



一雌藥

第六十一圖



二雌藥



多雌藥

博物學 卷三 文 文 邦 育

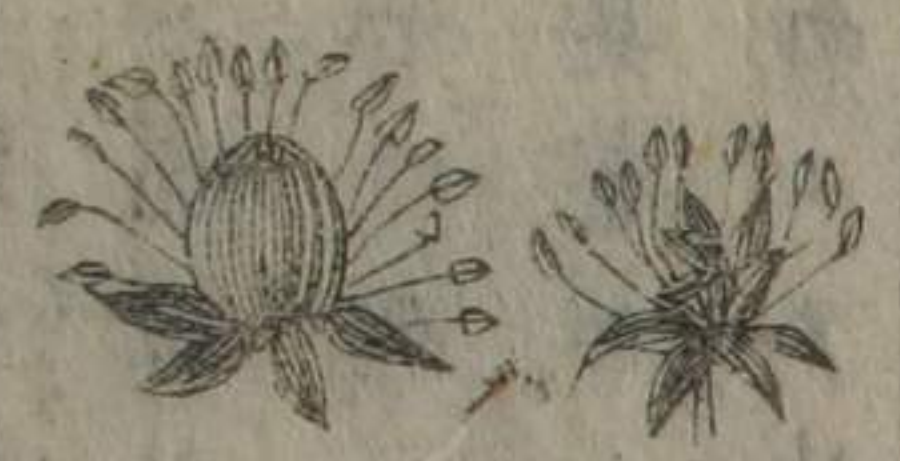
第二目二雌藥 此目ノ例ニ甚相適スルモノハ
 美麗ナル所ノ芍藥ナリ且近來支那及西伯利亞
 新種類ノモノ數多ヲ移植セシニ依リテ此目
 中ニ一屬ヲ増加シタリ統ベテ此目中ニ屬マル
 植物ハ皆二雌藥ヲ具有ス

第三目三雌藥 此目ハ華麗ナル「ラルクスプー
カトキク ウ ヒ エ ン ガ 有毒ナル鳥頭カトキク及香氣甚レキ「ビベル
ア コ ニ ト ナア等ヲ包有ス

第四目四雌藥 此目中僅ニ二屬ヲ有スルノ
 即由核子及木蘭花ニ類似シタル「ドライイ」ス

井ニ一リ等ハ皆此目ニ屬セリ
 第五目五雌藥 此目ハ十個ノ屬ヲ包有ス此目
 中ニテ世人ノ知レルコ レ ハ マ キ コ レ ビ ン 樓斗菜ハ其一例ナリ
 第六目多雌藥 此目ハ美麗ノ花ヲ生スル灌木
 並ニ草類ヲ包有スルヲ甚多
 シ灌木中ニテ木蘭花ハ最モ
 著名ノモノトシテ草類中ニテ
 ハ白頭翁オキナクサ及毛茛キレボウケヲ美麗ノモ
 ノトス且冬月開花スル植物
 中ニハ福壽草フクシヨウソウ及「ハルンボ

第六十三圖



多雌藥 五雌藥

ルアリ又金梅草和名及猿猴草和名等此目中ニテ皆美麗ノ植物ナリ

○第十四綱 二雄長二雄短 此綱ノ花ハ四雄葉ヲ具有セルモノニレテ二個ハ長ク二個ハ短カシ而シテ此綱ハ二目百七十個ノ屬ト千四百

第六十四圖



個ノ種トヲ包有ス 第一目裸子 此目ニ屬スレ植物ハ其莖堅固ニレテ遂ニ子壳トナリ其内ニ裸體ノ種子ヲ藏セリ又刺賢埕兒薄荷

續斷等ハ皆此目中ニ屬シテ多クノ用井テ以テ食味ヲ助クル者ナリ

第二目被子 此目ニ屬スル植物ノ被子ト名ヅクルハ何トナレバ雄葉ノ數ト位置トハ前ノ裸子ト同シケレドモ只其異ナル處ハ其種子ノ殼中ニ存スルニ在ルノミナリ蓋此目ニ屬スル植物ハ甚美麗ノモノ多シ例ヘバ凌霄花及尋常ノ指頂花ノ如キ即是ナリ
○第十五綱 四雄長二雄短者 此綱ハ六個ノ雄葉ヲ具有セル者ニレテ四個ハ長ク二個ハ短

第六十五圖



雄蕊及子壳

蓋此綱ノ植物ハ食料トナルモノ多シ即椰菜ボクセン、燕菁カゾラ、萊菔ライフ、萊菔ライフ、等是ナリ又芳香アリテ愛ス可キ花アリ即黄花紫羅蘭アヲロクトツクアラヒスナイレコロ等是ナリ且此綱中ニ屬セル植

物ノ種子ハ精良ノ油ヲ含メル者多シ
リニ目ト爲ス其ハ子殼ノ形狀ニ基ツキ此綱ヲ分ケ
テニ目ト爲ス其ハ子殼短クシテ殆圓キモノ
ナリ其二ハ子殼ノ長キモノナリ即第六十五圖

ヲ見ルベシ然レドモ子殼ノ形狀長カフズ又短
カラスレテ其中間ニ屬スル物モ亦少ナカラサ
ルヲ以テ近時ノ著述者ハ此綱ヲ二目ニ分ツコ
トヲ發シタリ

○第十六綱 單體雄蕊 此綱ハ雄蕊ヲ一體ニ
結合シタル者ニシテ他綱ノ如ク雌蕊ノ數ニ關
係セズ只雄蕊ノ數ニ基ツキ綱中ヲ八目ニ分ツ
又其目中ニ百三十九屬千四百三十六種ヲ包有
ス
第一目三雄蕊 此目ハ三體ニ結合シタル雄蕊

第一目三雄蕊 此目ハ三體ニ結合シタル雄蕊

第六十六圖



ヲ具有セル花類ハ皆此目ニ屬セリ且又目中ニハ美麗ナル球根草類アリ即ハレラリヤ「ナグリヂヤ」ハルベルチヤ等是ナリ蓋是等ノ花ハ香ニ花形ノ尋常ナラザルノモノナラズ頗奇異ナル黑色ノ斑點ト線條トヲ帶ブルモノナリ

第二目五雄藥 此目ハ一體ニ結合シタル五個ノ雄藥ヲ有スル者ニシテ此目例ニ最モ適當レ

タル者ハ即玉藥花是ナリ

第三目六雄藥 此目ハ一體ニ結合シタル六個ノ雄藥ヲ有スル者ニシテ目中只一屬ヲ有スルノミ即ギルリシア、グラミニイアト名クル球根ノ植物ハ目中ノ一屬ニシテ其葉ハ禾本ノ如ク其花ハ奇異ノモノナリ蓋此目ハ他目ト異ニシテ自ラ一種ノ成セリ

第四目七雄藥 此目ハ雄藥ノ本五ニ聚合レタル七個ノ雄藥ヲ具有セル植物ニシテ目中ニ牝牛兒ノ屬ヲ包有ス蓋此屬ハ花ノ形狀及彩色ノ

變化スルコト一定ナシ又「パラルゴニョー」天竺類
屬ハ其種二百三十八アリ此種ハ多ク喜望峰

ノ土産ニシテ當今米國ノ煦塘中ニ培養スル植
物ハ過半此種ニ屬セリ

第五日八雄藥 此目ハ一體ニ結合シタル八個
ノ雄藥ヲ具有スル者ニシテ目中只ニ屬ヲ包有
スルノミ

第六日十雄藥 此目ハ一體ニ十個ノ雄藥ヲ具
有セル植物ニシテ目中ニ眞ノ牻牛兒ゼラニームス即「カラシ

ス」ビルアリ此等ノ植物ハ多分草類ニシテ温帶

第六十七圖



地方ノ各處ニ生ス又此目中

ニ城形花ト稱シテ種々ノ花

辨ヲ以テ成レル美麗ノ植物

多シ其子殻ハ即莢ト名ヅク

ルモノナリ

第七日十二雄藥 此目ハ一

體ニ十二個ノ雄藥ヲ具有セル植物ヲ包有ス此

目中ニ十二屬アリ皆熱帶地方ニ生スルモノナ

リ其中ニ甚美麗ナル植物アリ

第八日多雄藥 此目ハ一體ニ結合セル數多ノ

雄藥ヲ具有セル花ニシテ目中ニ美麗ナル花木
多シ即蜀葵カラアワセゼニアフヒ錦葵イナビ芙蓉パシヤ苧麻モシヤ木綿樹ツバキ茶及山茶等是
ナリ

○第十七綱

二體雄藥

此綱ハ二體ニ分レ

雄藥ヲ具有セル花ニシテ其一體ニ集合セル九
個ノ雄藥ト別ニ一個ノ雄藥アルヲ常ノ者トス
此一個ノ者ヲ第二體ト云フ綱中ニ百二十九屬
千五百六種ヲ包有セリ此綱ノ花ハ多分蛾形ニ
シテ他綱ノモノトハ大ニ相異ナリ
第一目五雄藥 此目ハ二體ニ分レタル五個ノ

第六十八圖



六雄藥

五雄藥

雄藥ヲ具有セルモノニシテ目
中只一屬ヲ包有セルノミ即夫
ノ較美麗トスベキ一年草ナル
亞非利加産ノ「モンニ」ラ、トリ
ホリ「」是ナリ

第二目六雄藥 此目ハ二體ニ

分レタル六個ノ雄藥ヲ具有スル植物ニシニ目
中ニ六屬ヲ包有ス即尋常ノ雜草タル延胡索ハ
屬中ニ在リテ近キ一例ナリ

第三目八雄藥 此目ハ二體ニ分レタル八個ノ

雄藥ヲ具有セル花ニシテ目中僅ニ四屬ヲ包有
ス其屬中ニテ美麗ナル遠志ハ甚種類多ク且最
モ著名ノモノナリ

第四目十雄藥 此目ハ二體ニ分レタル十個ノ

第六十九圖



十雄藥

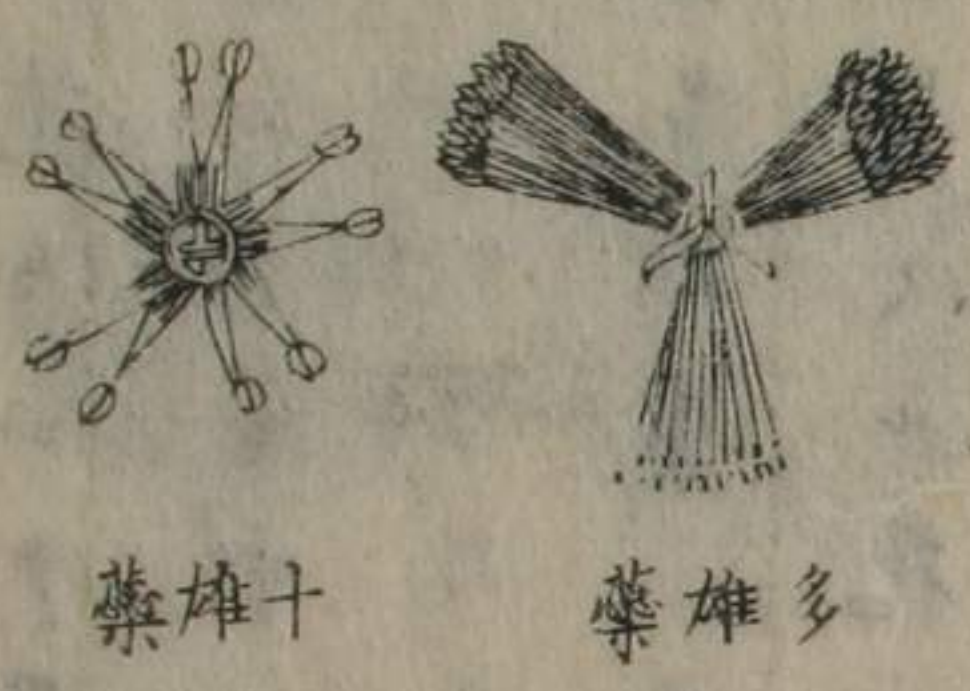
八雄藥

雄藥ヲ有スル植物ニシテ一
體ニ八九個一體ニハ唯一個
アルヲ通常ノモノトス且此
目中ニ豆莢ヲ具フル植物ヲ
包有スルコト甚多シ蓋此等
ノモノハ皆蛾形ノ花ヲ具ヘ

テ有用ナル豆類牧草類漆草類ト又美麗ニシテ
貴重スルキ灌木類及喬木類トヲ包有ス即豌豆、
蠶豆、翹搖、青黛草等是ナリ

○第十八綱 多體雄藥 此綱ハ數體ニ分レタ

第七十圖



十雄藥

多雄藥

ル多クノ雄藥ヲ具有セル植
物ヲ包有ス此綱ヲ分ケテ二
目ト爲ス此綱中ニ二十一屬
百八十七種アリ
第一目十雄藥 此目ハ數體
ニ分レタル十個ノ雄藥ヲ具

有セル花ニレテ目中僅ニ四屬此屬ハ皆熱帶地方ノ植物ナリ
ヲ包有ス其屬中ニ有用ナル甘藷餅ノ香煎ヲ製ス
レ所ノ加々阿アリ

第二目多雄藥 此目ハ數體ニ分レタル數多ノ

雄藥ヲ具スル花ヲ包有ス此目ノ例ニ適當セル

者ハ平常米國ノ郊野或ハ遊園等ニ生スル小蓮

翹草ナリ又煦塘培養ノ植物ニ在リテハ有用ニ

レテ且美麗ノ實ヲ結ブ橙樹ナリ

○第十九綱 雄藥圍雌藥 聚成花ハ皆此綱ニ

屬ノル者ニレテ種子ヲ具有セル細花ハ皆花房

ニ聚合ス綱中ニ二百七十七屬及二千六百五千

種ヲ包有ス

第一目均等多雌藥 此目ハ兩全ノ細花ヲ具フ

ル者ナリ此目最廣大ニレテ尋常ノ植物ヲ包有

第七十一圖



セルコト甚多シ萵苣ホーク

弁トヤナギタ牛蒡アルチウ

一ツレヂミノ屬等是ナリ此

等ノモノハ大抵草類ニシテ

多クハ一年生ノモノナリ

第二目過量多雌藥 此目ハ

有用ナル植物及美麗ナル植物ヲ包有セルコト
甚夥シ甲ノ一例ハ加密列花等ニシテ乙ノ一例
ハ^{アレチクホタニ}啞亞花是ナリ

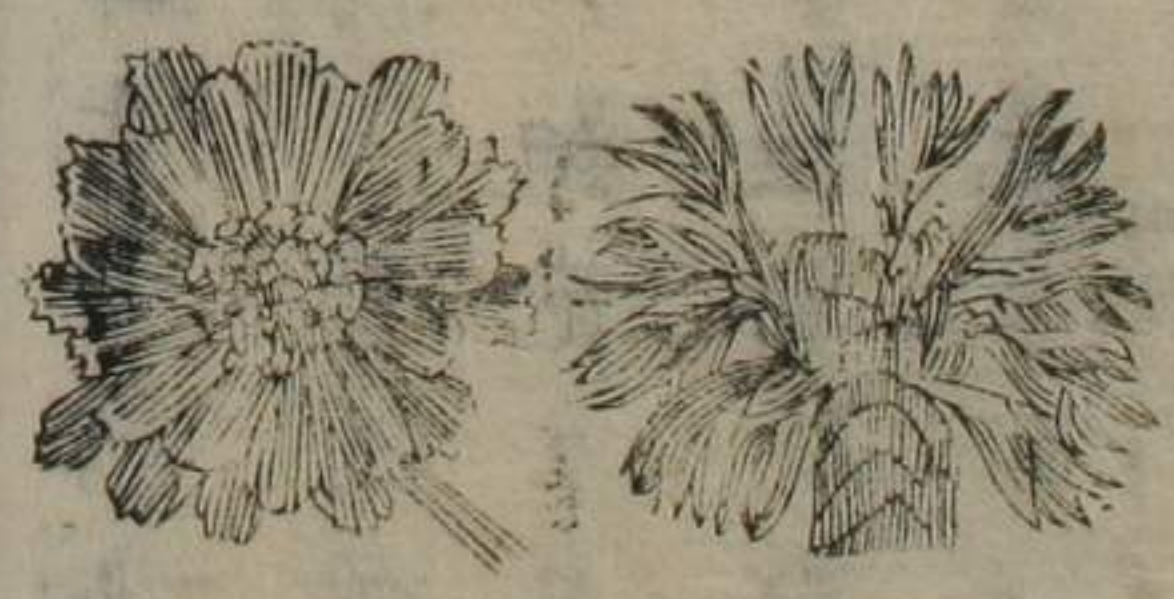
第三目不實多雌藥 此目ニ屬スル者ハ^{ヒマハリ}向日葵
ナリ

第四目緊用多雌藥 此目中

ノ植物多クハ喜望峰ヨリ移
植セシ者ニシテ其中ニ有名

ノ二屬アリ即^{ヤム}金盞花^{カレンジ}アル
トチス等是ナリ

第七十二圖

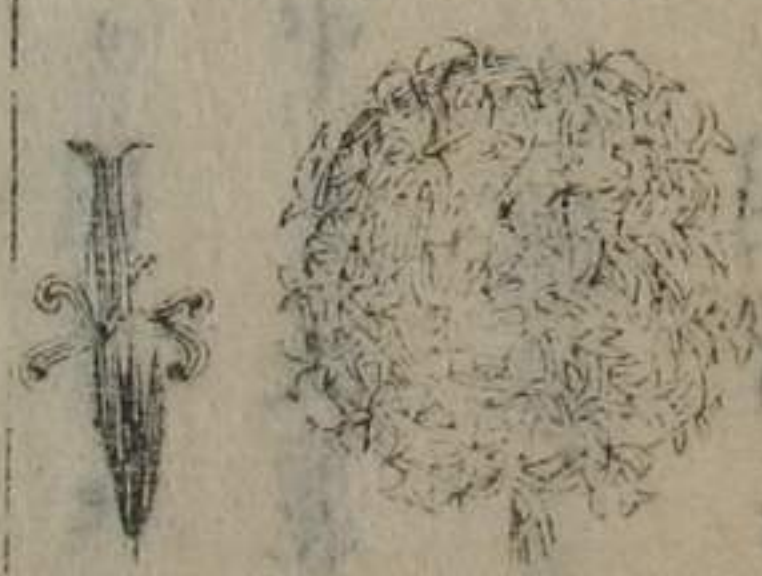


緊用多雌藥 不實多雌藥

第五目分離^花者 此目ニ屬

スル植物ハ皆外國産ノ草類及
亞灌木ナリ

第七十三圖



單州^{シロクタイ}屬^{カレンジ}盛 分離花者

第二十綱 雄藥着雌藥 此綱

第七十四圖



一雄藥 二雌藥 六雌藥

ハ雄藥ノ雌藥上ニ附著セル
植物ヲ包有スル者ニシテ綱
中ニ百十屬及四百三十七種
アリ蓋此種ノモノハ塊根ノ
草類或ハ奇異ノ節アル草類
或ハ蔓草類ニシテ其花最美

植物學 卷三

麗且芳香アリテ其形狀ハ皆奇異ノモノ多シ此
綱ヲ分ケテ三目ト爲スコト左ノ如シ

第一目一雄藥 此目ハ雌藥ノ上ニ附著セハ一
個ノ雄藥ヲ具ヘタル植物ヲ包有ス此目ニ屬ス
ル植物中ニハ吾人尤眷愛スル所ノ野生植物アリ

第二目二雄藥 此目ハ雌藥ノ上ニ附著セル二
個ノ雄藥ヲ具ヘタル花ニレテ自中ニ美麗ノコ
ロリススリツゲル

第三目六雄藥 此目ハ雌藥ノ上ニ附著セル六

個ノ雄藥ヲ具ヘタル植物ヲ包有ス

○第卅一綱 雄雌同株者 此綱ハ同株ニシテ

第七十五圖



一雄藥



二雄藥

雄花ト雌花トヲ具有セル植
物ナリ綱中ニ百四十七屬及
千五十二種ヲ包有ス而シテ
此綱ヲ分ケテ十目ト爲スコト
左ノ如シ

第一目一雄藥 此目ハ相離

レタル雄花ニ一個ノ雄藥ヲ具有セル者ナリ目
中ニ五屬ヲ包有ス其一ハ南海諸島ノ土産ニ

テ有名ナル麩菓樹ナリ

第二目二雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ二個

ノ雄藥ヲ具有セル者ナリ尋常ノ浮萍モ此目中

ニアリ

第三目三雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ一個

ノ雄藥ヲ具有セル植物

ヲ包有ス玉蜀黍等ハ皆

此目ニ屬ス

第四目四雄藥 此目ハ

相離レタル雄花ニ四個ノ雄藥ヲ具ヘタル植物



三雄藥

ハ皆是ナリ且此目中ニ赤楊樺及黃楊桑等ナリ

第五目五雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ五個

ノ雄藥ヲ具ヘタル者皆是ナリ此目中ニテ最モ

著名ノ者ハ苜蓿ナリ

第六目六雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ六個

ノ雄藥ヲ具ヘタル者ナリ此目ニ屬セル植物ハ

機關ノ種類及其ニ似タル者ナリ即柳樹西穀樹

及アクロコミア等はナリ

第七目八雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニ八個

ノ雄藥ヲ具ヘタル者ナリ此目ハ甚小ニシテ只

一屬ヲ有セルノミ即智利國ノ産ニレテ高樹
「シバ」是ナリ且此目中ニ二種アリ其一ハ「オ
ヒ」地ヨリ移植ヤシ者ナリ

第八目片雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニシテ
第七十七圖 萼ニ附著セル數多ノ雄藥ヲ具
ハタル植物ヲ包有ス而レテ植



學家ニ纏ニ此目ニ妥當スル所
ノ者僅ニ一屬ヲ發見セシノミ
即新和蘭ヨリ移植シタル「アゼ
カ」名ヅクル一樹是ナリ

第九目多雄藥 此目ハ相離レタル雄花ニシテ



花房 附著スル夥多ノ雄藥
ヲ具有セル植物ヲ包有ス此
目ハ頗廣大ニシテ嬌麗ナル
秋海棠或ハ栗山毛櫟榛胡桃
榲桲類多クハ皆此目中ニ
屬シ楓樹及種類多キ天南星

第十目單體雄藥 此目ハ相離レタル雄花ヲ具
セル植物ニシテ其雄藥一體ニ結合ス此目ハ綱

中ノ最大目ニシテ至大ノ林樹
ヲ包有セリ即松、樅、樹、落葉松、柏
樹、杉、樹等是ナリ壺蘆、甜瓜、胡瓜
等モ亦此目中ニ在リ

○第廿二綱 雄雌異株者 此

綱ハ異株ニ單性ノ花ノ具フル植物ナリ近世ノ
安語字典ニ此綱ハ百三屬六百六十種ヲ包有セ
ルコトヲ記載セリ且此綱ヲ分ツトハ十三目
ヨリ少カラズ即左ノ如ク
第一目 雄藥 此目ハ異株ニ單性ノ花ヲ具フ

圖九十七第



第十八圖



ル植物ニシテ之ニ屬セル雄本ノ花ハ尺一個ノ
雄藥ヲ具フルモノナリ又此小目ハ僅ニ二屬ヲ
包有シテ其一ハ著名ノ露兜樹スクリクパイトハ螺旋狀ヘリマキノ
イシニナリ此樹ヲスクリクパイト名ヅク
ル所以ハ其葉恰モ鳳梨ノ葉ニ類似シ只其異ナ
ル所ハ鳳梨ヨリモ大ナルノ

ミ蓋此種ハ葉ヲ幹ヨリ生ズ
ルコト甚異様ニシテ對生ニ
モ非ズ又ハ互生ニモ非ズ其
上葉ハ下葉ヨリ少シク左傍

ニ偏シテ相生シ又其上葉ハ更ニ左偏シ幹ヲ遠
テ相生スルコト恰モ螺旋ノ狀ニ彷彿タリ

第二目二雄藥 此目ハ異株ニ單性ノ花ヲ具ス
ル植物ヲ包有ス目中ノ雄本ハ皆二個ノ雄藥アリ
又目中ニ四屬アリ其中ニテ尋常ノ水揚^{カハヤナキ}ハ主
眼ノモノトス四屬中更ニ百六十七個以上ノ種
ヲ包有セリ

第三目三雄藥 此目ハ此木ニ雄花彼木ニ雌花
ヲ開ク者ニシテ其雄花ハ各三個ノ雄藥ヲ具有
シ目中ニ十二屬ヲ包有ス其一屬中濕地ニ生シ

第十八圖



雄藥四 雄藥三

テ頗蔓延スル植物アリ即岩
高蘭^{和名}是ナリ且波斯^{バルハラ}及他
諸國ニ野生シテ人生ニ必用
ナル波斯^{トルメヤ}棗モ亦此目ニ屬セ
リ

第四目四雄藥 此目ハ異株

ニ單性ノ花ヲ具スル植物ニシテ目中ノ雄本ハ
毎花皆四個ノ雄藥ヲ具ヘタリ且目中ニ十五屬
ヲ包有シ屬中ニ蠟子樹^{蠟子樹名}等アリ
第五目五雄藥 此目ノ雄本ハ五個ノ雄藥ヲ具

植物學 卷三

フル花ニシテ目中ニ十三屬
ヲ包有ス此屬中庖厨用ニ供
スル菠薐菜及甚貴重スベキ

蛇麻草カサネ

第六日本雄藥 此目ハ六個

ノ雄藥ヲ具ヘタル雄花ヲ開

ク植物ニシテ土扶リキキ苓リンノ屬モ亦之ニ屬セリ目中

十七屬ヲ包有シ屬中ニ椶櫚ノ種類六個アリ

此椶櫚中亭々トシテ凌雲ノ喬木アリ此等ノ椶

櫚其生産セル諸國ニテハ甚美麗ナリト云フ又

此屬ノ種中ニ乾藥ト爲ス可キ者アリ

第七目八雄藥 此目ハ單性ノ植物ニシテ八個

ノ雄藥ヲ具ヘタル花ヲ開ク

者ナリ且此目ハ太少ニシテ

只白楊樹ノ一屬ノ有セルノ

第八雄藥

九雄藥



第八目九雄藥 此目ハ九個

ノ雄藥ヲ具ヘタル花ノ雄本

ニシテ亦僅ニ三屬ヲ包有スル處ノ小目ナリ

第九目十雄藥 此目ハ十個ノ雄藥ヲ具ヘタル

第八圖二

五雄藥

六雄藥



博物學 卷三 三三

植物學 卷三

第四十八圖



狀ノ草本ナリ

第十目十二雄藥

此目ハ十二個ノ雄藥ヲ具フ

雄本ニシテ目中ニ六屬ヲ包有セリ

此目ハ大抵葎中ニ挿入セル

第十一目廿雄藥

此目ハ大抵葎中ニ挿入セル

廿個ノ雄藥ヲ具ヘタル花ノ

雄本ヲ包有ス

第十二目多雄藥 此目ハ花

房ニ固著セル數多ノ雄藥ヲ

具ヘタル雄本ニシテ目中ニ

七屬ヲ包有ス蓋其屬ハ皆外

國産ノモノナリ

第十三目單體雄藥 此目ハ一體ニ結合セル數

多ノ雄藥ヲ具ヘタル花ノ雄本ヲ包有ス目中ニ

十五屬アリテ屬中ノ植物ハ其大小生長等甚異

第四十八圖



植物學 卷三 三十四

圖六十八第



藥雄體單

同アリ且此月中ニ美麗ナルボルボン、パールム、ブルボ欄ノ高大ナルアロウカリ義ノ矮小ノブチルス、ブルム、スギナダノギイカ、スギナ圓錐狀ノ杜松、スギナ黒色ノ水松、スギナ芳香アル肉豆

菟、奇異ナル猪籠草等アリ

○第廿三綱 雄雌雜居者 此綱ハ數多ノ雄雌

藥配合セル者ニシテ綱中ニ六十八屬七百三十

六種ヲ包有セリ此綱ヲ分ケテ二目トス

第一目雄雌同本 此目ハ甚廣大ニ分類頗美麗

第八十七圖



雄雌同本

ナル植物及有用ノ植物ヲ包有スルコト甚多シ即含羞草、合歡、槭樹、及華麗ノ實ヲ結フ芒果等是ナリ

第二目雄雌異本 此目ハ十八

屬ヲ包有スル者ニシテ屬中ニ

木材ト爲シテ甚有用ナル素皮、

麵包、義枝、義眼、義茄、義樹、及數多ノ無花

果類アリ

圖八十八第

本異雌雄



○第廿四綱

殖機隱微者 此綱ハ雄雌榮陰ニ

第八十九圖

金星草ノ屬



草蘇鏡ノ屬



配合セル者ナリ之ヲ分ケテ
九日トス日中ニ三百七十六
屬二千六百六十二種ヲ包有
ス

第一目羊齒科 寒國ニ生ズ

ル羊齒類ノ屬 熱帶地方ニ生

ズル者ハ椰樹ト類似シテ其

形狀モ殆相同シ凡羊齒類ハ皆一年草ニシテ椰

樹ノ如ク堅牢ナラズト雖モ南亞米利加ニ生ズ

ル羊齒中ニハ其長實ニ椰樹ノ如キ者アリ

第二目木賊科 此目ハ唯木賊ノ一屬ヲ包有ス

第九十圖



木賊科

ルノ蓋此目名ハ其屬ニ因

リテ命ゼン者ナリ即池沼及

溝渠ニ生ズル尋常ノ問荆是

ナリ又某國ニテハ此植物一

ニ「フログパイプ」ノ蛙ノ管ト云ト名ヅク其故ハ此

植物蛙ト同處ニ生殖スルヲ以テナリ

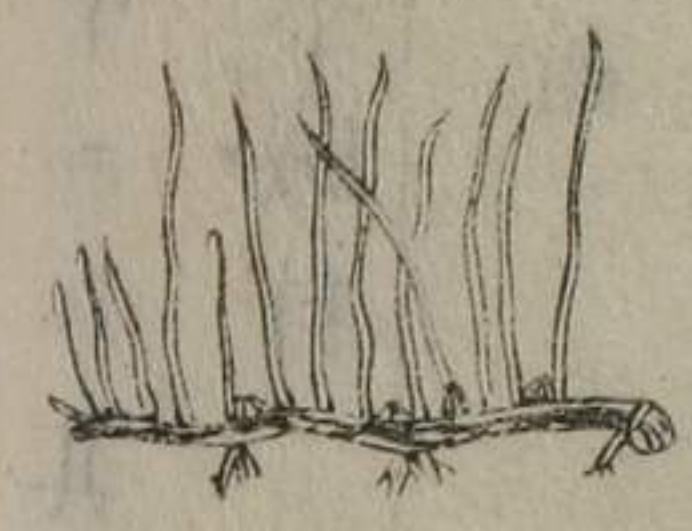
第三目石松科 此目ハ僅ニ二屬ヲ包有スルノ

ミ日中ノ植物ハ泥炭アル沼地ニ生ジ或ハ泥炭

多キ濕地ノ森林ニ生ズル者ナ
リ又此目ヲ稱シテ「クラブ」モ
鮮ノ義ナリト云フ是其植物ノ
形狀ニ依リテ命ジタル者ナリ
第四目蕨科 此目ハ四屬ヲ包
有セル者ニシテ其屬ハ皆濕地

圖二十九第

科蕨



ノ苔類及木中ニ生スル甚
著名ノ植物ニシテ其形狀恰
モ細小ナル羽翹ノ攢簇セル
ガ如クシテ或ハ其尖頭ニト

圖一十九第

石松科



球ヲ具スルモノアリ故ニ此植物ヲ名ヅクニ
子草ト稱ス 此目ハ數十種ト包
第五目土馬騾科 此目ハ數多ク屬ト種トヲ包
有セル者ニシテ其屬ハ唯北方ノ寒國及陰暗ノ

圖三十九第

科騾馬土



濕地ニ繁茂スルノ之若此植
物ノ沼地及濕地ヲ被覆スル
トキハ恰モ柔軟ノ毛布ヲ展
ベタルガ如シ又此屬ハ植物
中細微ノ者ナリト雖モ能ク自己ヨリ大ナル植
物ヲ養育スルノ効用アリ

第六目地錢科 ヒニゴト 此目ハ細小ノ匍匐根ニシテ著

名ナラザル植物ノミ其葉ハ

恰モ屋瓦狀ニシテ互ニ相重

疊セリ且頗チゴケ地衣草ニ類似ス

レドモ全ク相異ナル者ナリ

目中ノ一屬ナル「レ」ヤンジョ

ル「レ」ニ「ハ」好テ尋常ノ沼地或ハ陰濕ノ森林或

濱流緩徐ナル山傍ノ地ニ茂生スル者ナリ

第七目藻科 此目ハ七十九屬ヲ包有レテ其過

半ハ湖海江河等ニ生ズル藻類ナリ目中第二屬

第九十四圖



地錢科

第九十五圖



藻科

ノ中ニ水綿フタトコ名藻ノアリ此藻ハ

其形狀ヨリモ却テ其彩色イロヲ

以テ速ニ注目セラル、處ノ

著ルキ者ナリ總ベテ貯水器

中或ハ小流中ノ石上ニ生ズ

ル綠色ノ莖渣ハ自一種ノ水

綿ナリ且夥多ノ藻類アリテ大洋ノ深處若クハ

淺處ニ繁茂セル者之ヲ海藻ト名ヅク

第八目地衣科 岩石家屋壁上若クハ樹木ノ枝

幹等ニ生シ鱗狀ニシテ灰色ヲ帯ヒタル者ハ皆

第九十六圖



此目ニ屬ス蓋此等ノ者ノ其
 形狀甚數多ニヒテ或ハ薄キ
 羔皮紙ノ如ク且能ク蔓延ス
 ル者アリ或ハ萌生スル表面
 ヨリ突起シテ灰色ヲ帶ヒ毛
 茸アル房

ノ如キ者アリ又此地衣中ニ
 動物ノ食料トナルベキ者
 ノリ即拉巴蘭ニテ馴鹿ノ食
 ニ供スル者ハ只石葉ハナゴケ地衣ノ
ラフランド

第九十七圖



第九十八圖



其他有用ノ藥劑トナリ又染料トナルモノ一
 二個アリ地衣ノ實ハ小瘡ノ如キ者若クハ細小
 ノル皿ノ如キ者ナリ
 第九目芝柄科 此目ハ凡バテ菌類ヲ包有セル
 者ニシテ近世ノ著書ニハ此
 目中ニ百五十九個以上ノ屬
 ト千百五十個以上ノ種トヲ
 有セリト爲ス且此屬種ノ外
 ニ尚未發見セザル者數多ア
 ルコト疑ハシ蓋菌類ハ大半

朽木、枯草及動物ノ死體ニ生ズル者ニシテ或ハ
庖厨食用ニ供スル者アリ或ハ有毒ニシテ甚警
戒スベキ者アリ且木材ノ乾枯腐敗スルハ種々
ノ菌ヨリ起ルト云フ

既ニ上條ノ如ク植物細目ノ一覽ヲ記シ終リタ
リ然レモ其屬ト種トノ數ニ至リテハ我嘗テ認
知セシ者ト又我嘗テ記録セシ者トノミナリ故
ニ必其遺漏ナキコト能ハズ今茲ニ記載セザル
所ノ者モ亦恐ラクハ數多ナルベシ

植物界再案

今茲ニ再案トシテ有形界ノ廣大ナルニ就キ造
化ノ經營セン大功業ハ實ニ驚歎ス可キコトヲ
記セシ世人試ニ植物界ヲ閱覽セバ其產物ノ夥
多ト其種類ノ無數トニ驚愕ムベシ蓋此等ノ產
物ハ學生ヲシテ曉解セシムルコト猶彼ノ奇想
アル理學ニ於ルガゴトクナルベシ
吾人須ヲク看ルベシ雪片上ニ長生シテ方一「イ
ンナ」我ハ分ヲ蓋フニハ二百五十萬株ヲ要スル
ム微ノ「ウレド」ニバリ「ス」植物名ヨリ以テ巨大ナ

ル林木ノ榭樹オシロ或ハ熱帶ニ産スル海藻ノ一種ニ
 レテ其長七十丈ニ及ブオシロビュース、ギガンチク
 ス海藻ノ名ニ至ル迄大小各種ノ植物ト又地球全面
 ノ山谷、岩石等ハ皆植物ヲ以テ被覆セラレタル
 一ヲ而レテ洋海ノ深處ト雖モ數萬ノ植物繁茂
 シ佛佛里達求國、地近傍ヨリケケーパワルド、リリカフ
 名ニ至ル迄千百里ノ海中ハ殊ニ藻類夥レク
 茂生シテ舟行ヲ妨碍スト云フ
 植物ノ員數及種類ハ頗無窮ニシテ甚驚愕スベ
 キモノナリ既ニ植學家ノ認知セル種類大凡五

萬アリト云フ此數ハ蓋植物界中ノ僅ニ 部分
 タルコト疑ナレ其種類ハ各性質ノ殊異ナルガ
 爲ニ其形狀並ニ彩色夥多アリテ或ハ藥材ニ供
 スルモノアリ或ハ動物ノ食料滋養ト爲ルモノ
 アリ或ハ有毒ニシテ甚危殆ノモノアリトス
 百科學中ニ在リテ娛樂ノ心ヲ生ズル者ハ植物
 學ニ若クモノナレ蓋花ヲ愛スルコトハ天真ニ
 出ヅルモノト見ユ其故ハ兒童ノ如キ無心ト雖
 モ猶能ク花ヲ愛娛スルノ情アレバナリ然レド
 モ彼ガ如キ愛娛ト植學家ノ能ク草木ノ名ヲ知

博物學 卷三 一 聖 文部省

リ其樹ハ其綱ニ屬シテ其處ニ生シ其質如何ヲ
認知セル者ノ娛樂トヲ比較スル片ハ彼ノ愛娛
ハ實ニ微少ノモノト謂フ可キナリ

又百科學中ニテ植物學ヲ學ブヲ以テ最モ高尚
ニ且有益ナルモノトス蓋植學ヲ學ブ者ハ造化
功業ノ緻密ニシテ且其大全ナルコトヲ察知ス
ルニ足ラン蓋其功業タル必天體運動ノ法則ヲ
定ムルカヲ以テ草莖花葉等ノ生長ニ至ルマテ
統ベテ主宰スル靈妙明慧ナル真神ノ所爲タル
コトヲ感得ス可シ

夫一隻ノ雀ト雖モ造化ノ許可ナクバ地上ヲ生
スルコト能ハスト謂ヘル語アリ蓋前條ノ説ハ
實ニ吾人ヲシテ造化ノ功業ハ確然此語ニ違ハ
サルコトヲ感歎セシムルニ在リ嗟呼造化ノ花
ヲ作ルハ其思慮最モ深シト謂フ可シ彼風雨ヲ
リテ花ノ織綴ナル巧エヲ害セント欲スルトキ
ハ其花自ラ斂マリテ能ク此害ヲ防護ス試ニ短
矮ノ小菊ヲ見ヨ其花美麗ニシテ其神工最モ織
巧ヲ極メタリ況ヤ造花ノ優惠ヲ恩錫セル才智
考慮覺悟等ヲ具有シタル人生ニ於テヲヤ惡ガ

造化ノコレヲ眷顧セザルコトアテシモシゴバ
 ルコト云ヘル人旅行中勞苦嗟嘆ニ堪ハザルコ
 トアリレガ偶然野生ノ卉花ヲ見テ前説ノ如ク
 造化ノ人生ヲ眷顧ス可キ道理ヲ回想レ大ニ其
 心ヲ慰メシ説話ニ曰ク同氏嘗テ亞非利加洲ニ
 旅行セシ際頗困憊セシカハ地上ニ憩息シ眸ヲ
 回ラセドモ更ニ人烟ヲ見ス耳ヲ軟シレドモ曾
 テ人聲ヲ聞カズ孤影蕭索客心凄冷タリ偶路傍
 ニ生ゼル嬌麗ナル一小花ヲ見テ精神大ニ鎮靖
 シ忽ニ回想シテ以爲ラク吁嗟造化主斯ク荒涼

ナル原野ノ小花ヲ愛護シ損害ヲ防禦セザル
 コト彼レ如ク然リ況ヤ人生ノ窮困悲歎一於テ
 ル豈其忽然トシテ眷顧ヲ垂レサルコトアラン
 ヤト自心思ヲ慰メ遂ニ欣々然其地ヲ去リテ行
 進ヒシト云フ

植物學科ハ博物學中他ノ各學科ノ如ク能ク其
 蘊奧ヲ極レハ珍奇ヲ發明スルコト愈多カルヘ
 レ吾人試ニ暫草木ノ種子ヲ將テ推考セバ心中
 ニ驚怪ノ思想ヲ起ル如クヤ蓋草木ノ種
 子ハ皆生機ヲ具有シ其時ヲ得ルトハ猶母體

ノ赤子ヲ産スルガ如ク宛然トシテ喬木若クハ
 灌木ヲ生下フ可シ彼小殻ニテ被包セル榭實ハ
 即茂葉繁枝鬱乎タル大榭樹ノ本源ナリ
 造化主ハ草木ノ種子ヲ地球ニ散布センカ爲ニ
 種々ノ方法ヲ設ケテ種子ヲ創造セリ茲ニ鳳仙
 花一名ソクニ植物アリ其子殻中ニ種子ヲ包含
 スル時得レハ則子殻破裂シテ含蓄セル處ノ種
 子四方ニ飛散スル者ナリ此鳳仙花ニ就テ左ノ
 奇談アリ
 某氏曾テ數名ノ朋友ニ誘ハレ本草園ニ行キシ

カ路側ニ生長シタル此種ノ植物アリ其名ヲ問
 スル際ニ一人ノ少女何心ナク手ヲ以テ此植物
 ノ枝上ヲ拂ヒタリ時ニ其子殻破裂シテ種子爲
 然迸散シ少女ノ顔面ヲ撲チタリ少女以テ羽蟲
 ノ巢ヲ搖攪セシト思ヒ叫テ曰ク呀々吾何ヲ爲
 シタル乎ト喫驚シテ逡巡セリ同行ノ人此景况
 ヲ目シテ大ニ笑ヲ催シタリト云フ
 數多植物ノ種子中ニハ細小ノ翅翼ヲ具スルモ
 ノアリ此類ノ種子ハ風ノ爲ニ掀翻セラレテ四
 方數里外ノ地ニ散布スルニ至ル今其翅翼ヲ具

有レタル種子ノ一例ヲ舉ケンニカキ薊ノワタケ絨毛即是
 ナリ此絨毛ハ常ニ其種子ニ附著スルヲ以テ能
 ク種子ヲシテ四方ニ蓬飛セシム又亞細亞ノ沙
 漠内ニ布置レタル小池中ニ霖雨ノ際毎ニ生長
 シテ年々死枯スル一種ノ植物アリ其種子ハ莖
 ニ生シ亞麻纖維ノ如キ物ヲ以テ包圍セリ此種
 子熟スル時、自落下シ池水尚溜滯スレハ則嘗
 テ其種子ヲ結ビ植物ノ近傍ニ於テ萌芽ス若
 又池水乾涸スレハ則彼ノ亞麻纖維様ノ物開發
 シ以テ翅翼ニ變レ風陣ニ掀起ヒラレテ種子

ヲ飛散シ遂ニ其適宜ノ地所ニ達セシムルニ至
 ル
 種子ニ永ク其生機ヲ保存スベキ鞏質アルハ實
 ニ靈妙ト謂ノベキノリ蓋種子ノ此生機ヲ保存
 スルハ實ニ數百歳ニ過ダルコトヲ曉ハシ世
 人今種子ヲ見テ其十分乾萎レ全ク枯槁セリト
 思ヒ之ヲ攔セシ後更ニ久レキ歲月ヲ經テ之ヲ
 適宜ノ地ニ種ウルニ此種子能ク萌茁シテ花ヲ
 問キ實ヲ結ブベシ又ミミストルボロイト氏ノ説
 話ニ曰ク「ヒルボル」地ニ數百年ヲ經シ山毛櫸

ノ古木アリ之ヲセ^ルボル^ル近隣^ニ移植セ^レ
時其跡ニ數多^ク蜜^{ハチ}萌出セ^リ蓋此蜜^{ハチ}ノ種子
ハ必數百年間山毛^ノ根下^ニ埋没^シ潜伏セ^レモ
ノナラント
西班牙人往時^ノ伯露國^{南亞米}所領^セレ時此國
ノ主屬タル^イカ^ス人種ハ皆食糧ヲ負^ヒ去^リ
テ荒野ニ遁逃セ^リ現今此荒野中ニ於^テ往々ニ
三粒ノ玉蜀黍ヲ蓄藏^シ狭口ノ古器ヲ得^ルコ
トアリ思^フ此器中ニ存スル處ノ玉蜀黍ハ當
時^ノイ^カ人種此地ニ遁^シレ^トキノ食糧ナ^ラ

又試^ニ此玉蜀黍ヲ種^エクルニ三百有餘年瓶
中ニ籠罩セ^レ物ナレドモ能ク萌芽^シナ^リ子實ノ
結ビタリト云^フ主^ノ旨^ヲイ^フ者^ハ大^ニ
上古ノ埃及土人ハ其法教ニ關涉セ^レ想像ニ依
リ往々木^ノ乃^イ伊^ノ尾^ノ體^ヲ割^キ臟^ヲ去^リテ藥物ヲ
ト爲^{タル}死體ノ掌中或ハ脚板ニ一種ノ百合花
ヲ安置スル風習アリ此百合花ハ球根ノ種類ニ
シテ頗葱ニ類似セル者ナルガ往々地トニ露出
セル木^ノ乃^イ伊^ノヨリ採摘^シタルコト之^{アリ}此根ノ
兩三種ヲ植ルニ嘗^テ木^ノ乃^イ伊^ノ棺内ニ在^リテニ

厚^クカ^ク三^三
早^六
大^正三^三

千餘年ノ星霜ヲ經タレドモ猶能ク萌芽シテ花
ヲ開キ實ヲ結ズト云フ
茲ニ何人ヲ論ゼス少レク博物學ヲ學ビタル者
ハ實ニ巨萬ノ金坑ヲ有セルヨリモ更ニ貴重ス
ベキ歡樂ノ本原ヲ得タル者ト稱フ可シ請フ此
語ヲ以テ植物界再案ノ愉快ナル論說ヲ結局シ
隨テ次ニ動物界ノ論說ヲ述ベシ讀者若次編ニ
至ラハ更ニ造化主ノ智能ト德澤トヲ感佩シ大
ニ驚愕スベキ期アル可シ
具氏博物學卷之三終

